

前期行動計画の取組状況（H24年度末時点）に対する各委員からの意見等

[各取組項目に対する評価全般(総括)に対する意見]

・全般的には適正な評価と判断する。但し、取組状況の区分での評価と総合評価の整合性が必ずしも十分ではない場合がある。事例はNo.1の項目での取組状況では、A 1ヶ、B 6ヶ、C 1ヶだが、総合評価はCであった。（松山委員）

・評価時の目標が頑張ればクリアできるレベル(これを普通A～E評価の真中Cとする。)なのかどうか不明確でない。客観的に判断できる物差しを用意する必要がある。（松本委員）

[評価方法に対する意見]

- 1) B、C、Dの場合、何が不足(未達)であるかをもっと分かりやすくする。
- 2) B、C、Dの場合、止むを得ないとする事由があれば明記する。（松山委員）

- 1) 評価基準表に則った評価になっていないものがある。例えば「新たな情報提供方法の検討・導入」の項目において、取組状況の区分でA評価、B評価合わせて50%以上、C評価50%未満で、且つ、数値目標が98%を確保しており、B評価と認定出来るにも関わらず、C評価となっている。
- 2) 評価基準表において、「部の仕事目標」の評価と数値目標達成率評価の関連性が不明確。例えば、A評価50%以上、B評価50%未満で、数値目標達成率が80～100%に止まった場合、どちらの評価を優先すべきか不明確なので、総合評価がAなのかBなのかの判定が困難。
- 3) 数値目標の達成率の区分と評価の関係に違和感を感じる。非常に高い成果をA評価とするなら、例えば、達成率が110%超→A、90～110%→B、70～90%→C、50～70%→D、50%未満→Eの方が分かりやすい。
- 4) 各部署間に評価方法のバラツキが見られるので、評価者の研修を継続実施し、評価の統一性を確保出来るように努めて頂きたい。（岡本委員）

・当事者による評価なので、第三者評価、上位評価、他部門の評価なども加えればよい。（松本委員）

前期行動計画の取組状況（H24年度末時点）に対する各委員からの意見等

I 市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進		
1 情報提供・情報共有の充実		
(1) 行政運営の状況の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有【重点】		
●新たな情報提供方法の検討・導入		
総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・C評価になっているが、B評価では？一部未達があるが・・・（松山委員） ・「情報公開制度の適正な運用と満足度の向上」の項目で、満足度で目標が52点に対し51点と未達に終わったにも関わらずA評価とするのは違和感がある。（岡本委員） ・区分Aの市民満足度51点というのは、100点満点ではC評価ではないか。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会ライブ中継の円滑な管理運営、積極的な情報提供の実施（松山委員） ・近畿市町村広報コンクールで優秀賞を受賞した。（岡本委員） ・多様な媒体を使い工夫して情報提供がなされている。（奥田委員） ・自ら取り組む姿勢。（松本委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革のホームページもリニューアルされておらず、ホームページを絶えず最新版にする必要がある。（岡本委員） ・広報紙や映像による市政情報提供について市民に知ってもらうこと。（奥田委員） ・外国語HP自動翻訳利用状況の確認（楠委員） ・パソコンの値段は安くなっているのでも、必要ならば買うべき。広報紙に、市民に身近な話題を提供する。（松本委員）
●どこでも講座（職員による行政出前講座）の積極的な活用		
総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に対する市民の理解、関心の深化（松山委員） ・市民や自治会などの要望に応じている。（奥田委員） ・71⇒91と大幅目標クリア、受講結果好評（楠委員） ・市民の中に自ら入っていくようにしている。（松本委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・受講結果報告書の内容が次のどこでも講座に活かされているか。（岡本委員） ・市民の要望している講座とマッチしているのかの見極め（楠委員） ・市民へのPR。（松本委員）
(2) 情報共有の充実に向けたツールの活用		
●たけまるモニター制度の効果的な運用		
総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・A→B（奥田委員） ・モニター結果の市民への反映があればA。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生の声が届く。（松山委員） ・制度そのものは良いと思う。（松本委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・たけまるモニター登録者は増加するも、アンケートに対する回答率が検証されていない。（岡本委員） ・意見の収集だけでなく、どのように反映したかを広報する。（奥田委員） ・本制度の市民へのPR. テーマの選択。（松本委員）
●パブリックコメント手続の適正な運用・充実		
総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・D評価になっているが、C評価でいいのでは・・・（松山委員） ・コメントゼロのものも多く、E評価ではないか。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメの積極的な活用（松山委員） ・取り組み姿勢そのものは悪くない。（松本委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・論点整理と必要な資料の入手容易性の確保（松山委員） ・総合評価がDと低い。パブリックコメント提出改善策を早急に策定することが必要。（岡本委員） ・提出意見が少ない。案件の資料の取得に課題がないか。（奥田委員） ・市民へのPR. 自治会の会合に出向いてのヒアリング。たけまるモニターの活用。月1回市役所での説明会。コメントをもらうテーマの選択。（松本委員）

2 自治基本条例による協働の取組の推進

(3) 市民からの政策提案制度の導入【重点】

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・C⇒Dが妥当、24年度目標に対する24年度末での達成状況が全く示されていない。(楠委員)
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民提案型は参画意識の向上に効果 (松山委員) ・姿勢は結構だが、「これこれの内容についてどうか」というほうが現実的。(松本委員)
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・提案のための諸データの情報提供の充実 (松山委員) ・政策に関わる条例などを熟知していない市民の政策提案はハードルが高い。市会議員と共同での政策提案となるような仕組みにした方が良いのでは。(岡本委員) ・ロードマップを明確にし、24年度の遅れをカバー、具体的推進 (楠委員) ・市民が具体的な政策を提案するのは、情報不足もあり難しい。(松本委員)

(4) 市民、NPOなど協働のパートナーの支援【重点】

●市民が選択する市民活動団体支援制度の運用

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・D評価になっているが、C評価でいいのでは・・・ (松山委員) ・D評価と低評価である。市民への周知に問題があるのか、そもそも市民が支援したいと思える内容では無かったのか検証が必要。(岡本委員)
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の選択による支援可能 (松山委員) ・努力していることは評価 (楠委員)
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・対象団体の情報提供の充実 (松山委員) ・市民の関心を高めること。(奥田委員) ・市民への周知徹底を具体的にどう進めるのかロードマップを定め推進 (楠委員) ・市民団体そのものはどうPRをするのか。市民への制度全体のPR。(松本委員)

●市民活動推進センターの効果的な運営

総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者・団体数が相当数に上る。(松山委員) ・着実な登録団体数の増加 (楠委員) ・ボランティア、NPO法人の登録が増えていることは評価できる。(岡本委員)
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ボランティア、NPO法人が市民、行政と具体的にどのような活動を行ったかを分かるようにすべき。(岡本委員) ・活動内容における充実状況の見える化、良い点の横展開 (楠委員)

(5) 参画と協働のまちづくりを進めるための指針の策定・運用【重点】

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度は事業数が未調査で評価出来ないならば、総合評価は「B」ではなく「評価できず」にするべきではないか。(岡本委員) ・B⇒Cが妥当、H24年度目標数値がありながら未調査とは！ (楠委員)
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・協働・参画型事業数が相当数に上る。(松山委員) ・努力している点は評価 (楠委員)
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・より分かりよい情報提供の実施 (松山委員) ・年間取組件数170件の、具現化、見える化 (楠委員) ・市民へのPR。(松本委員)

(6) 市民自治協議会の導入に向けた取組【重点】

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・D評価の理由を「市民意識の高まりが必要」とあるが、高齢化進み、税収も減少傾向にある中、自助、公助だけでなく、共助を作り上げる重要性を行政が認識出来ないのでは。(岡本委員)
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民自治協議会により市民参画を促す。(松山委員) ・努力していることは評価 (楠委員)
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法についての概要が見えにくい。(松山委員) ・自治会と市民自治協議会の役割分担・補助金の見直し。(奥田委員) ・市民との協調がポイント、ロードマップを定め、具体的に協議を進める事 (楠委員) ・自治会との対応。市民へのPR。(松本委員)

前期行動計画の取組状況（H24年度末時点）に対する各委員からの意見等

II 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供

1 事務事業の継続的な見直し

(7) 総合計画に基づく施策・事業の進行管理【重点】

● 後期基本計画の策定

総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	
	今後の取組課題等	・H25年3月、人口問題研究所がH30年の生駒市の人口を117,460人と予測している。行政が行う人口推計は子育て支援等の施策により、この程度にしたいという意味であるべき。（岡本委員）

● 総合計画推進市民委員会による進行管理

総合評価に対する意見		・予算に反映するかたちで事務事業の見直しが行われたが、結果として市民サービスの低下を招いていないか検証されたか。（岡本委員） ・A→B（奥田委員）
取組に対する意見	評価できる点	・住みやすさ向上の施策が良い。（松山委員）
	今後の取組課題等	・文化度向上の施策はどうあるのが良いか。（松山委員） ・H24年度において、すでに総合的な住みやすさの満足度が60.7%となっているにも関わらず、H25年度の目標が59.0%となっており、整合性がない。（岡本委員） ・何故H25目標値が、60.7⇒59.0%にダウンするのか？（楠委員）

(8) 行政の守備範囲の検証と事務事業の精査・改善

総合評価に対する意見		・業務の効率化の推進（奥田委員）
取組に対する意見	評価できる点	・予算策定段階での事業の見直し、委員会中継の開始（松山委員） ・議事録の掲載が広島市の180日に比べると平均65日は評価できる。福岡市、岡山市は30日で議事録作成しており、2ヶ月を切ることを目標にして欲しい。（岡本委員）
	今後の取組課題等	

(9) 外部監査制度の導入の検討

総合評価に対する意見		・B評価ではなく、C評価ではないか・・・（松山委員） ・外部監査制度の導入について、国等の結論が出ていないとして進んでいないにも関わらず、総合評価がBとなっているのは違和感がある。（岡本委員）
取組に対する意見	評価できる点	
	今後の取組課題等	・総務省で検討中（松山委員）

2 民間活用の推進		
(10)民間委託の範囲の拡充など民間活力のさらなる活用【重点】		
総合評価に対する意見		・やるべきことはやっているようだが、C評価になっている。(松本委員)
取組に対する意見	評価できる点	・竜田川浄化センター(松山委員) ・民間活用についての努力。(松本委員)
	今後の取組課題等	・県の施設の活用(民間に限定せず)(松山委員) ・継続的な業務レビュー(奥田委員) ・更なる民間委託の検討。(松本委員)
(11)指定管理者制度の導入施設拡充と効果的運用		
総合評価に対する意見		・取組状況が5項目平均でBを下回っているにも関わらず、目標公募実施率87.5%をわずかに1.9%上回っているだけで、総合評価Aとしているのは違和感ある。(岡本委員) ・A⇒Bが妥当、H24年度達成状況においてCが2件あることより(楠委員)
取組に対する意見	評価できる点	・公募実施率の向上(松山委員)
	今後の取組課題等	・公募参加事業者数の増加(松山委員) ・指定管理者の行うサービス水準指針の策定と活用(管理)(奥田委員) ・何故H25目標値が、89.4⇒87.5%にダウンするのか?(楠委員)
3 行政資源の有効活用・効率的な管理運営		
(12)既存公共施設の長寿命化に向けた中長期的な計画策定【重点】		
総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	・点検の実施、修繕計画の立案(松山委員)
	今後の取組課題等	・全体像の明示(長期化した施設について)(松山委員)
4 環境に配慮した施策・事業の推進		
(13)環境マネジメントシステムの推進による公共施設の省エネルギー化【重点】		
●環境マネジメントシステムの推進		
総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	・着実に進めている。(松山委員) ・LAS-E第2ステージ第1ステップの認証取得への取り組みは評価出来る。(岡本委員) ・LAS-E導入による推進(奥田委員)
	今後の取組課題等	・職員・指定管理者・取引業者の意識のレベルアップ(奥田委員)
●再生可能エネルギーの活用		
総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	・小水力発電、太陽光発電(松山委員) ・国の補助金活用による小水力発電の設置(奥田委員)
	今後の取組課題等	・太陽光発電の更なる普及(松山委員) ・メンテナンス費の縮減(奥田委員)
●自治会防犯灯のLED化		
総合評価に対する意見		・B評価であるがA評価ではないか(松山委員)
取組に対する意見	評価できる点	・迅速な施策で100%、取替手間の削減(松山委員) ・防犯灯のLED化を予算を削減する中で進めたことは評価出来る。(岡本委員)
	今後の取組課題等	

(14)ごみ半減プランの推進【重点】

●家庭系ごみへの有料制の導入

総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	・検討作業の実施、モデル地区での施行（松山委員） ・目標値に対する達成意欲の高さ（楠委員）
	今後の取組課題等	・ゴミの削減への効果測定（松山委員） ・市民・行政・事業者一体となつての継続実践（楠委員）

●事業系ごみの減量・資源化の促進

総合評価に対する意見		・事業系ごみの排出量が目標9,280tに対し、9,279tと達成したことは評価出来るが、目標より1t少なかっただけでA評価というのは違和感ある。（岡本委員）
取組に対する意見	評価できる点	・一定の値上げ（松山委員） ・目標値に対する達成意欲の高さ（楠委員）
	今後の取組課題等	・ゴミの削減効果と事業採算の検討（松山委員） ・不法投棄の絶無（奥田委員） ・市民・行政・事業者一体となつての継続実践（楠委員）

●ごみの再資源化の推進

総合評価に対する意見		
取組に対する意見	評価できる点	・古紙類の回収促進（松山委員） ・目標値に対する達成意欲の高さ（楠委員）
	今後の取組課題等	・再資源化率の向上（松山委員） ・生ごみ・剪定枝処理の経費を考慮した取り組み（奥田委員） ・市民・行政・事業者一体となつての継続実践（楠委員）

前期行動計画の取組状況（H24年度末時点）に対する各委員からの意見等

Ⅲ 自立した自治体への変革

1 財政規律を確保するための財政指標の目標値の設定

(15) 財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理【重点】

総合評価に対する意見		・H24年度決算未確定なら、経常収支比率など数値確定した段階で総合評価すべき。（岡本委員）
取組に対する意見	評価できる点	・経常収支比率、公債費比率の健全化（松山委員） ・数値目標に対する実績（奥田委員）
	今後の取組課題等	・H25年度経常収支比率目標が93.7%以下で、H24年度目標92.8%以下より悪化しているのはなぜか。（岡本委員）

2 財源確保の取組

(16) 中長期的な税財源等の安定確保に向けた重点投資【重点】

●定住促進のための子育て施策の充実

総合評価に対する意見		・良く頑張っているように思える。A。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	・待機児童の減少、長時間保育（松山委員） ・待機児童削減は評価出来るが、「いたちごっこ」発言は好ましくない。（岡本委員） ・待機児童の減少（奥田委員） ・待機児童ゼロに向け具体的に進めている点（楠委員） ・取り組みを具体的に推進している。（松本委員）
	今後の取組課題等	・受益者負担のあり方（松山委員） ・定員と保育園児・保育士のバランス（奥田委員） ・働く女性を支援する施策の拡大。（松本委員）

●企業立地施策・既存産業振興策の推進

総合評価に対する意見		・Dではないでしょうか。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	・数値目標には達していないが、具体的に推進をしている事（楠委員） ・1件でも立地できたこと。（松本委員）
	今後の取組課題等	・企業立地へのインフラ整備（松山委員） ・新規企業の誘致（奥田委員） ・奈良先端大学との関わりを活用する。業種については絞り込みが必要。（松本委員）

(17) 市税の収納対策の推進

総合評価に対する意見		・B評価となっているが、C評価では・・・（松山委員） ・B評価ですが、他の市と比べてどうなのでしょう。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	・滞納対策の充実（松山委員） ・徴収率向上への努力は評価出来る。徴収率の他市との比較があれば分かりやすい。（岡本委員） ・県と協働しての収税強化（奥田委員） ・様々な取り組みをしている。（松本委員）
	今後の取組課題等	・回収の更なる向上、目標値の引き上げ（松山委員） ・未納に対する措置の検討（奥田委員） ・休日納税窓口の設置など他の市の取り組みも参考にする。（松本委員）

3 職員定数・給与の適正な管理

(18) 行政需要等を踏まえた職員数の適正管理【重点】

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・職員数削減の目標を達成しており、A評価としているが、アルバイトの導入など実働人数の把握が必要である。（岡本委員） ・A⇒Bが妥当、H24年度取り組み評価にCあり（楠委員） ・これまでは団塊退職もあったが、今までのやり方でできるのか。A評価は少し甘いか。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・組織のスリム化（松山委員） ・職員数の減（奥田委員） ・とにかく人数減らしには努力している。（松本委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の適正配置（松山委員） ・指定管理者に対する経費、臨時社員ほか物件費等扱いの人件費等トータルでの把握。（奥田委員） ・仕事を無くすことで人は減る。補助金廃止もその一環と考える。選挙管理委員会のようなものは繁閑の区別をつける。（松本委員）

(19) 人件費の総額管理と能力・実績を重視した給与制度の構築【重点】

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間縮減の目標数値を達成しA評価としているが、多時間残業者の人数を削減したのか、一人当たり残業時間を削減したのかが良く分からない。（岡本委員） ・時間外勤務の削減割合は分からないので、評価が難しい。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の縮減、特殊勤務手当の一部廃止（松山委員） ・一般に手当の類は廃止するのが今の流れになっている。実施した点。（松本委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・給与制度の改正、管理職の評価、昇格・昇進への対応。（松本委員）

4 適正な人事管理と職員の能力向上

(20) 能力と意欲に応じた柔軟な任用制度の構築【重点】

●能力と実績を重視した新たな任用制度の構築

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・CにてOK、H25年度目標・目標数値は？（楠委員） ・できていない。早期の構築を。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲の向上を目指している（松山委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料等職員の評価（松山委員） ・職員のモチベーションをいかに上げるか。管理職になりたがらない職員への対応。（松本委員）

●再任用職員の効果的な活用

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・BにてOK、H25年度目標・目標数値は？（楠委員） ・これから。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的再構築（松山委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・再任用制度の確立（奥田委員） ・制度設計を早くする。再任用のためのメンタル面の教育も必要か。（松本委員）

(21) 人事評価制度の効果的な運用

総合評価に対する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成度評価（業務評価）は個人目標と部の仕事目標の両方を勘案しているか。（岡本委員） ・全てできている訳ではないが、内部で考えた目標に対してはAということですか。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・透明性の高い評価、対象範囲の拡大（松山委員） ・評価制度を4・5級に導入したこと。（松本委員）
	今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準の設定をよく検討する。（松本委員）

(22)職員の資質向上・能力開発の推進

総合評価に対する意見

取組に対する意見	評価できる点	・新たな視点や発想でチャレンジする方策（松山委員） ・民間企業への派遣研修など職員の能力向上への努力は評価出来る。（岡本委員） ・研修の実施。（松本委員）
	今後の取組課題等	・能動的な行動を評価する方策（松山委員） ・研修業務・研修先・時期・期間などの検討（奥田委員） ・研修のねらいと内容があっているか。人事制度との関連は。部長クラスに研修講師をさせる。（松本委員）

5 機能的で分かりやすい組織・機構の構築

(23)重点施策を効果的に推進できる組織機構の構築と柔軟な運営【重点】

●効率的で柔軟な組織の編成

総合評価に対する意見		・AにてOK、ただ水道事業業務窓口の統合をB⇒Aに変更（楠委員） ・区分の評価がBなのに、総合評価がAなのは何故。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	・いろいろ変えてみる。ダメならまた変えればいい。（松本委員）
	今後の取組課題等	・ワンポイントサービス（松山委員） ・何故H25目標値が、53⇒50.0%にダウンするのか？（楠委員） ・組織改編が実際に機能しているか。（松本委員）

●PTなど横断的な組織の積極的な設置

総合評価に対する意見		・A評価となっているが、B評価ではないか（松山委員） ・目に見える成果を上げた点でA。（松本委員）
取組に対する意見	評価できる点	・震災支援（松山委員） ・横断的プロジェクトチーム編成等で、縦割組織の弊害を取り除く努力は評価出来る。（岡本委員） ・ふくしまキッズインいこま。私は知りませんでした。（松本委員）
	今後の取組課題等	・より広範囲な施策への取組（松山委員） ・PTが実際の業務の重荷にならないよう。メンバーの選定にも注意。（松本委員）

(24)現場への権限委譲の促進

総合評価に対する意見

取組に対する意見	評価できる点	・機動的な運営、責任の自覚（松山委員） ・運用を開始したこと。（松本委員）
	今後の取組課題等	・権限移譲進めているが、却って決裁が遅れるなど弊害が発生していないか。（岡本委員） ・責任を明確にする。権限移譲も良いが責任ばかりが来るようでは萎縮してしまう。（松本委員）